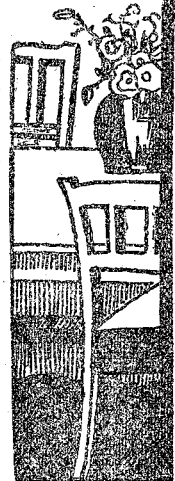


研究

セイロンとスエズの状況 (上)

『歴史産業交通等について』



H T 生

這般から「共榮圈内の經濟狀況と交通問題」と題して、本誌に掲載中であつたが、この記事は丁度七月號を以て一應は完結したのである。併乍ら尙これだけでは不十分の感もあり、亦對外情勢は益々戦局の進展につれて、刻々擴大されてゐるので、そこで更に本號からは印度の最前線の地位を占めてゐるセイロン島を始め英の寶庫印度への大動脈であり、英の地中海に於ける生命線であり、

東洋通路の咽喉を扼する、目下北阿戦に於て重要問題となつてゐる、彼のスエズ運河地方並に曩に我が精銳なる空軍が遠く印度洋を横斷して空襲を敢行したる、阿弗利加之東岸マガカス島及び敗戦米國が最後の前衛地と頼む布哇島並にこれも亦米國が渡洋對日作戰に北部ルートとして企圖しつゝあつた、アリユシヤン列島等に於ける歴史、産業、交通其他一般の狀況について少しく記載する

こととしたのは、畢竟大東亞戰は終極に於て世界戰爭にまで進展せしめて以て暴虐厭なき彼等米英をして最後の止めを刺すまでの覺悟を有することは吾人の固き決意であるが故にこれ等に重大關係を持つ地位にあるところを多少たりとも認識してゐることは決して徒爾ではないと信ずるからである。

抑も英植民帝國に現在第二の崩壊作用が行はれんとするが、既にマレーを喪ひ、ビルマを失ひ、今將に濠洲、印度、エヂプトが離反せんとしつゝあることはチャーチル英首相が躍起となればなる程拍車をかけて進行するのも當然であるが、第一次の崩壊作用は云ふ迄もなく千九百二十六年の秋の帝國議會に於ける所謂バルフォア聲明によつて聯合王國と自治領とは英帝國内にあつて皇帝に對する共通の忠順に依つて結合せらるゝも、各自の國內的又は對外的事項の如何なる局面に於ても毫も相互に隸屬することなき自主的社會體であり、自由に英聯邦の成員として聯合し

たものとなつたのである。こゝに所謂第一次の英帝國の分解が行はれたのであつて、これによつて、アイルランド、加奈陀、濠洲、ニュージランド、南阿等は英本國と政治的又は外交的なる關係に於て對等の自治領となつて今日に至つてゐる。然るに今日の英國は各植民地に不平があるからとて以前のやうに帝國會議を開いてその主張なり意見なりを聞いてやると云ふが如き雅量も餘裕も持つてゐないのである。従つて離反するものはその獨自の立場において一方的行動によつて獨立するの傾向が多分に生じつゝある。かくてチャーチルが自らを守ることが不可能となつて、米國の白亜館詣りなどしてゐる間に、その植民地に英國は鼎の輕重を問はれてその權威を失墜しつゝあるのである。所謂古語に「敗けるものは禍なる哉」とはよく云つた言葉である。這般突如としてベンガル灣頭南マンガマン島の一角に打ち樹てられた旭日旗の印度洋潮風にひるがへるのは、何か雄渾なる印度洋への進軍歌であり、またその前觸れでもあつてやがて全世界の如何なるところにも押し寄せる歴史

的なる波紋を演出するの一投石でもあつた。過去三百年の長きに互つて英帝國の強盛と繁榮とを象徴すると共にその不自然の運命と重荷を負されて來た、英國の内海……印度洋をその支配から解放してその本然の姿に歸らしめ以て世界の公路に歸するのはセイロン島が重大なる役割を演ずるのである。さてセイロン島はこれまで往々にして印度の一部であると考へられてゐるが、こゝは管てビルマと共に英帝國の植民地であるが、行政上からは全然印度から分離されてゐる。即ち英本國の植民地大臣の管下に屬してゐて、セイロン總督によつて統治されてゐる。これは夙に英國はこの島の重要性を認めて軍事的に專用するがための方策から出たものであるが故に英本國政府の直屬として、印度大衆がこれに關與するのを極力回避するの意圖から出たものである。セイロン島の面積は約六萬六千三百平方キロであるから丁度臺灣の二倍強程に當り、その人口は最近の統計に依ると五百八十七萬餘になつてゐるから東京市全體の人口より約二十萬程少ない譯である。而してこの島の住民は約

四分の三はシンハリス種族であつて現在でも山中には原始的生活を續けてゐる。ウエタ族と云ふのがある、この種族は狩獵によつてその日の生活を送つてゐる、島の中央部から一寸南寄りの位置には海拔二千二百四十六米突に達するアダムスの高峰が聳えてこの山がセイロンに於ける第一の聖峰として佛教巡禮者の登山が頗る盛んである、登山道は左程立派なるものとは云へないが、この山麓までの道路は砂利を敷いて馬車位は交通出来るやうになつてゐる、登山道は勿論車等は交通出来ないが、幅二間乃至一間位のものが三方面から通じてゐて登山巡禮者には左程登るのに苦心を要せないやうである。

全體セイロン島には海拔千フィート前後の山々が五峰あり、又河川は全長約二百哩に及ぶウエリ河を始めとして百哩前後の河川は約十三程ある。而してセイロン島の大部分は椰子の木で覆はれてゐるが、次はゴム樹が約四十萬エーカーの土地を占めてゐる。この島の産業は、何んと云つても約五十萬英町からの茶園から産出される紅茶、一ヶ年

間に約一億一千萬ポンドが産業の第一である、彼の世界的に有名なるリプトン紅茶も又このセイロン島から生産されるのである。ゴム及び椰子も又主要産業の一つとなつてゐるが、前記紅茶に比較すると第二次的のものである。更にこの島の一般なる農業に至つては現在の状態では頗る微々たるもので米の如きは到底自給することが出来ないために約八割はビルマ、印度等から仰いで居る、この原因は利益問題であつて廣大なる土地が遊んでゐるが治水、水力發電等の問題に關聯して來るのであるが將來は大いに開拓の餘地は十分にあることは疑を容れないところである。その外天然産物として主要産物はルビー、サファイア等の寶石類と黒鉛等の鑛物が産出される位である。

セイロンの首府コロンボは同島の西南海岸に面してゐるがこゝがこれまで印度洋航路の集中點であり、又一年間に寄港する船舶は大體五千六百隻程でその總噸數は約二千四百萬噸に達すると云はれてゐる、一體この港は決して天然の良港ではなく殊に夏期にはマナール灣から吹きつける季

節風は頗る猛烈であつて、これを防ぐために十六億ポンドの巨費を投じて千八百七十五年から四十年の歳月を費して防波堤を築きこれが漸く千九百十二年に完成したのであつた。この東洋と西洋との岐路線を結ぶ人造港コロンボの市街は道路は最近鋪装された立派なる主要街道が出來上つてゐる、自動車等も自由に走れるが、胡椒の強い臭ひと、乞食の群と豆をいるやうに騒々しい印度語にのぼせかへるやうな市場が海岸通りにあつて總ての物資の取引をしてゐるが、クウイン街とチャサム通りにある時計臺は日本人の眼で見れば大した物でもないが、土地の人々は燈臺兼用にもなるので大いに自慢してゐる、英國はこのコロンボの軍港だけでは印度洋を守るのには心細いためでもあるか、更にこの島の東北海岸に天然の良灣港たるトリンコマリの地を選んで英國印度洋艦隊の根據地となし又陸上には海軍の兵器廠を設けて補給策をも施してあつたがこれが這般我が荒鷲に猛襲されて滅茶々に破壊されたのである。セイロン島の主要都市はこの外に中央部にあつてあの有名なる佛齒

寺のある古都キャンデー及び南部にあるゴール等であるがその他にも小都市は二三ヶ所ある、又北部にあるジャフナ及び高山地の避暑地である、ヌワラ、エリア及び中央から稍、北部にある前記古都アヌラダプラ等はセイロンの主要地であらう。更に英國はセイロン島が孤立してゐては安心が出来ないと思ふのか、鐵道によつて印度大陸と連絡するために相當規模の工事に着手してゐるが、この工事は西北岸のマナール島とメラシワラム島を利用して、メラシワラム島は鐵橋によつて印度の大陸に連絡して、更にメラシワラム島とマナール島との間には連絡船を以て通じてゐる。この距離は六十二哩であるが、鐵橋の方は名はアダムス橋と名銘してゐるが、事實は橋梁でなくして珊瑚礁の連續したる淺瀬を利用したものである。地體構造上からのセイロン島は内部の大陸的風景に依つても昔は印度の南端の一部であつたものが、現在のセイロン島の西北部が海水によつてさらはれ従つて切り離されたものと思はるゝのである。故にアダムス橋も太古には印度大陸とセイロンとを結

んでゐたものであつたやうである。セイロン島の道路關係を少しく見ると島内には約五千マイルに互る立派なる砂磔を敷いた國道が前記の主要都市たるコロンボ港を始め古都キャンデー、軍港都市トリニコマリイ等に國道に依つて聯絡されてゐる。殊にこれ等の國道には完全に砂磔を敷いてあるので最新式の自動車は高速で走行しても安全なやうになつてゐる、亦國道以外にも登山道や其他には補助道路はあるがこれ等は左程見るべきものではなく補助道路の發達は比較的遅れてゐる感がある。國道以外の交通機關としては廣軌約八百マイル、狹軌約百マイルの鐵道が敷設してある。而して最近では特別急行列車としてダイヤル機關車をコロンボとゴール間に使用して運轉してゐるがその他の線では大抵普通列車の運轉が主なるものである。その他の交通機關としてはバス自家用自動車トラック、モーター・サイクル、及び自轉車、牛車等があり亦部分的ではあるが小運河もあつて利用されてゐる。又こゝに面白いのはセイロン島内の地形が起伏して居るところには象が運搬用の動

力として使用されて居ることである。例へば餘程起伏の激しいところに工場なり家屋の建設は勿論相當重量のある荷物を山の中腹等へ運搬して行くのは象の仕事であり又土地の人々が行ふ即ちペラヘラの賑かなる祭典には象群が立派に飾り立て、何頭もこれに使用して樂むのもセイロンの名物であると共に見物である、兎も角象はセイロンでは運搬用の動力たるの一種の役目を勉めてゐる、對米英戰の開始前最近にセイロンを視察した某氏は、

セイロンでは税關でも大道でも日本人には特別の眼付きでデット見張つてゐる、港々の名物に黄旗があるが、これは赤痢流行の際に道路に於て交通遮斷の印である。又港々にでも道路の傍でも街の人達が繪はがきはいたりませぬかとか案内しましやうとか日本語で云つて近寄つてくるのには全く意外の感である、ガヂマルやネムの巨木の揃んでゐる街道に人力車が走つてゐるが、その風景は全く故國を思はせるものがある、土地の青年にも遇ふて見たが、酒場で集會禁止を命じた英國政府の非暴を罵り、

更に獨逸人や日本人の親切等を論じて日本はこゝに進出して神經營の英國官吏と代つて政治をやつてくれよばよいと机を叩き、肩を張つて情熱的なる政治的批判さへして居つたのである。

と云つて。

セイロン人は汽車の一等には乗車が出来ないことになつてゐる、これも白人の優越感から來た結果であらう………汽車の窓から點綴する景色の中では馬車にゆられて菩提樹の中道や小川に従つて走る、去來する風物はことごとく珍妙奇ならざるなしであるが又泥沼や河泉の水に浴びる群衆もことの外目立つのである。これが人間ばかりではなく水牛等のんびりした平和な姿も見慣れて來る、一體セイロンは地質學上世界最古時代と證される地上に果てしなく盡きないのが茶であるが、カルタ、ラトナブラ、ケガルは丁度我國で云へば宇治の茶所である。従つて茶摘女の多いこともこのセイロンの風俗に古風な歌謡などと共に興味が湧くが、この茶は所謂セイロン茶

として夫々牛馬に依つて驛まで運び出され更に鐵道やトラックに依つて港に出されて輸出されるのである。

とセイロンの名産である所謂セイロン茶についてかやうに云つて。

キャンデーはよいところである、この古都は海拔千六百尺の高地にあつて道路も至つてよく出来てゐる、樹木は繁茂して五色の花は美しく咲き、清潔なる自然の公園で世界に名高いゴムの巨木のある植物園内の立派な道路を馬車で走るのは實に愉快である、古刹佛蘭寺の金碧爛々たる堂の所在する周圍の池邊にたゞずむと、我國の奈良の古都が偲ばれてくる、佛陀の齒に香煙、香花の中に安置されるが、これが幾度も争奪事件があつたとのことである。印度の本國中には佛教の力は漸次稀薄となつてくるのに、こゝでは參詣者で常に雑沓してゐる、ムーンストンの半月形の足溜石も大切に保存されてゐる。

とキャンデーの古都を描き。

車中の眺望は風物の走馬燈で不可思議なる發見が絶へな

いかマホ驛から細い道を奥地へ進むと原野は次第に擴がつてゐるが道路と云ふ道路もない有様である、怪樹珍草は石器時代の太古を思はせるものがある大きな化物のやうな齒架が密生して居り、灌木に咲く大輪の毒の華は魔女の魂のやうに悪くどい色彩を帯びてゐる、ガルガムワでは驛員の振りかざす松明に照らされて顔面はウエダ種族の原始人のやうに見へるが密林からは猛虎が出て來るやうな氣持がする、セイロンの中央から稍と北部にある昔の王都アヌハダフリーラでは牛車は砂礫を敷いた大道を過ぎて田舎道を悠々と行くにつれて御者は異様な舌鼓で牛車を操縦する、又このやうな情調があるかと思へばホーク海峡の浪は怒濤となつて大鼓を激しく亂打するやうになるのである。

とセイロンの状況をこのやうに述べてゐる。のを見ても如何にセイロンは我國や滿洲支那等と異つてゐることが判明するのである。

全體セイロン島の歴史は古いものである。これは種々な

る記録によつても、この島は古い文化の持主であつたことは窺はれるのである。この一例としては即ちアヌラダブラ古郡並にその附近には興味ある考古學的なる古蹟が多數に今尙殘存してゐる。また或るところでは大なる岩山の中腹をくり抜き以て佛寺を建立して、天井、壁等一面に佛身を彫刻したるがその規模の宏大なること及び古代藝術の極致であることを見ても亦推知出来るのである。學者の説に依るとセイロンは既に西曆紀元前後五世紀の頃に於て相當文化の發達して居たのであると云つてゐるが、南部印度とセイロン島との間に於て互に侵略戦争の歴史を経て、西曆紀元十六世紀の時代にポルトガルが同島を攻略して以來、約一世紀半の永きに互つてこれを統治して居たのであつた。次いで十七世紀の半頃に至つて和蘭がセイロンを攻略してこの島をポルトガルから讓受して以て農業と水路開發に力を用ひたが、千七百九十六年に至つて英國が更に和蘭より讓受して現在に至つたのである。而して英國の同島植民の行政中心地たるコロンボ市は人口は約三十萬を擁してその

郊外を含有すると約百萬と稱せられてゐるが、都市としては全く諸設備の整つたもので立派なものと云つてよい。都市の道路は幅十間乃至十四間の主要街道を以て市中を縦横に貫通して赤道下熱帯の關係上これに完全なる砂礫を敷いてある、道路の兩側面に下水排水等も市中及び其の附近は完備してあり其他水道、電氣、瓦斯、通信機關及び市立病院公園等も夫々施設してあつて住宅地區には土地を比較的に多くとり入れて加ふるに草木が多數植付け恰も一大公園たるの感がある。殊にペラデニア植物園は熱帯植物園としては世界第一と稱せられてゐる。

教育機關としては公立の學校が十六校と外に私立及び半公立等の學校があるが、その程度は英國の大學に入學及び第一學年程度のもので大體に於て英語と土地語を併用してゐる。又都市から離れたところには土着人専用の學校があるがこれ等は殆んど全部土語を使用してゐる。而して土着人専用の學校は大體高等小學及び中學程度であるが、この外に特殊の専門學校並に夜學校等がある、元來シンハリ

イス、タミル及ぶベールガリーの各人等一般土地人等は相當にその教育程度は高く、殊に中流以上の人達の中には英本國のケンブリチ又はオックス・フォードの大學に學んだものも多數ある有様である。従つて英語はセイロンでは主要語であるから英文書に關する有ゆる書籍は各都市の圖書館等には相當藏してある。要するに一般常識は相當に發達して居り、見識も相當に高く餘り馬鹿にならないのである。

セイロン島の行政組織は全然印度とは別個であつて即ちクラウン、コロニーである、總督が置かれて、倫敦にあるコロニアル・オフィスと直接の聯絡を保つてゐる。全體此の種の植民地は政治的には未だ自治制に迄發達してゐないが併乍ら立法議員は大部分土地の選舉によつて行はれて全島を九行政に區分してある。而して各區管には英國の代理官吏たる知事が居りその下にムダリヤーと稱する副官の土地人がゐる、この副官は現在約百名程であるが更にこの副官の配下に助官が約六百名ばかり任命されてゐる。更に一村又は數村を管理してゐる所謂村長が約四千名程あつて上司

の指揮の下に村の行政をとてゐる。更にこの外に治安官若くは灌漑官等があつて夫々特殊なる役割を持ち管理者が任命されてゐる。又主要都市たるコロombo、キャンデー、及びゴールには市會の協議によつて凡ての都市行政が行はれてゐる、これがセイロンの特殊なる行政組織である。

想へば英國はシンガポールを失つて、印度に後退したがこの英國の勢力はセイロン、ケープタウン、フリマントルを結ぶ印度洋の三角陣によつて印度防衛に必死の努力を拂つたのも何等の効果なく、この印度の最前線に加へられたる我が猛攻は宛も鼻柱に命中した第一撃であつた。續いて第二撃と印度は混亂するばかりである。最近のリスボン外電はガンヂー翁は。

北阿に於ける英軍の大敗に伴ふ西亞諸地方の反英機運の濃化に呼應して愈々近く抗英並に獨立獲得の新運動を展開すべく決意したものと如く、最近行はれた、ネールを始め會議派領袖連の言説は何れもこの事實を裏書してゐる。即ちネールはガンヂー翁は目下非服從運動乃至は他

の何らかの形に於ける獨立獲得運動を考慮中で、近くそれが展開に乗出すものと思はれる。従つて印度民衆は之に應じ得るやう充分準備を整へ置くべきである。

と言明してゐるか、また、ガンヂー翁の片腕であるヴァラブハイジャ・ヴェルブハイ・パテルも印度民衆に對して進軍喇叭が鳴り響く時こそ諸君がこれまで度々示したと同様の熱心を以て之に應じガンヂー翁を全幅的に支持すべきである。と新運動の展開と共に蹶起せよと激勵してゐる。又最近のロイター通信ボンベイ特電は、回教徒聯盟總裁のジンナーはロイター記者と會見した際に、

現在印度が陥つてゐる混亂と災厄は責任である。思へば今次歐洲戰勃發直後インドに戰時狀態の宣言がなされた時、英國が我々の要求を即刻承認してゐたならば事態は現在とは違つたものとなつてゐたであらう。

と印度の混亂は英の責任であると干渉者を極力非難してゐるが何れにせよ米英は過去百日において東亞を失つたが今後の百日で何を失ふかは趣味ある問題であるが印度も既に

かやうの形勢にあるから我が壓力と共に早晩印度は英國の干渉を完全に離脱するであらう。従つて英國が印度の守として頼む直轄植民地のセイロンも亦完全に英國の範圍を脱して大東亞の一翼たることは遠き日ではないのである。

ヌエス運河とその地方

今度はセイロンから更に西進して獨伊軍が疾風の如く北部エヂプトを席卷して、英軍の最前衛産地であるエル・アラメインを抜いて英國の海陸軍の基地たるアレキサンドリアに迫り、エヂプト全土は舉げて大混亂に陥り、首都カイロも亦遠からず危険に頻してゐるが、英國よ汝は何所に行くかは趣味溢れる問題である。元來英國はその領土より大陽の没する事なしと誇號しただけあつて、その版圖は全世界に散在してゐる、これが蘇聯の如く一ヶ所に固つてゐない故にそれだけ原料資源その他色々な利益を受けてゐるのであるが印度と英本國との交通路である地中海の制海權の確保こそ英國の存立に絶對不可缺の條件とも云へるのである。然るに英國は最近までこの生命線地中海の支配權を

掌握してゐたのであるが、今度の北阿戦の敗戦はその心臓スエスを失ひ地中海は亦樞軸軍の制壓されるのも遠からずである。そこでこのスエズに足を延ばして見ると。この地中海と紅海との間にあるスエズ地峽に運河を掘れば東洋と西洋を結ぶには至つて便利であると考へたのは既に西歴前二千年にエジプト第十二王朝時代にあつたとの傳説は現在にも残つてゐる。而して西紀前六百年頃にはエヂプト王のネコガナイル河畔から紅海への運河を起工してゐるがこれが悉くは運河工事の嚆矢であろうと云はれてゐる。この工事はペルシア王ダリウスに至つて完成して、彼の妖女クレオパトラに至つて更に大改修を行ひ更にその後羅馬皇帝トラヤヌスが埋没箇所を修復したことなどは古代土木史に見えてゐる。このスエズ運河は最初から國際的である。越へて七世紀に至つてアラビヤ王アルムが再興を企てたけれども、沙漠の突風は絶へず人類の努力に打勝つて、この運河は砂を以て埋没して仕舞ふやうな状態であつた。其後約一千年の長きに互つてスエズ運河は鎖されてゐたのである。

千七百七十七年雄志に燃えた蓋世の英雄ナポレオンがエヂプト遠征を企圖して、將に成功の直前ナイルの海戦に於てその艦隊が英艦隊のために全滅に陥つたのであるが、その當時ナポレオンはスエズ地峽を視察して。ルペールに命じてその測量を行はしめたが、このルペールの報告書には地中海と紅海の水位が九メートルの差があると記してある。而して奈翁敗戦のために運河計畫も實施されなかつたのである。然るに千八百五十四年に及んでレセツプスがエジプトに來つて、時の大守モハメツトサイトに運河開掘の承認を得たのが現在のスエズ運河である。かくて佛人レセツプスは非常の努力の結果約十餘年の歳月を費して漸く千八百六十九年に至つて地中海の水を紅海に流すことが出来たのである。當時レセツプスは運河の通過料の利益配分は地主であるエジプトに一割五分、國際的に募つた株主に七割五分創立者であるレセプス自身には一割の配當をとる計算の基に全く政治性を持たざる國際的公共事業の考への基に置き従つて重役會の如さも國籍の異なる人々を參加せしめて

以て世界交通の使命を果しやうとしたのであつた。

老獪なる英國は愈々この運河の工事が完成すると、その重要性に着眼して野望を逞しくして、運河の支配權を掌握することに腐心して、エヂプト王の財政難に目を付けて其の持株を買占め、或はアレキサンドリアに突發したる排英運動に難題を持ち込みてエジプトを武力占領を敢行するか、有ゆる老獪なる手段を以てレセツプスの抗議など馬耳東風と聞き流して野望の達成に成功したのである。英國はかようにして地中海の西の玄關であるシブラタルを西班牙より千七百四年に奪取し、更に同海の中央に横たはるマルタを千八百年に手得し、更に次には侵略の魔手を東に延ばして、スエズ運河を掌握することによつて地中海は全く英國の中庭の池と化せしめたのである。

全體この運河は北口のポートサイドから大ビタ湖の水面を利用してスエズの南口までは延長約百六十キロであるからパナマ運河の約二倍の長さである。而して水深は平均十一メートルを保つやうになつてゐるが、運河中廣いところ

では百三十五メートルもある。従つて四萬噸級の巨船でも

通過は容易であるが、時速七ノット位の速力で約十餘時間を要するが、例へば獨逸のハンブルグ港から我國の横濱港までは喜望峰を迂廻して約一萬七千浬であるが、スエズを経由するとその約三分の一の距離は短縮されて一萬一千浬となる。この意味からもスエズは一日も早く樞軸側に於て掌握せねばならないのである。今や日本は印度洋を西へ西へと壓迫し、亦獨伊は地中海から東へ東へと延びて來て印度洋上で樞軸國側との握手するもの亦遠からずである。スエズ運河を中心とするその西側には鋪裝したる實に立派なる道路が通じてゐる。又アレクサンドリア軍港と首府カイロ間には幅三十米以上に及ぶ自動車道路もあり亦カイロからナイルの大河に副ふてアスアンまでも道路は通じてゐる最近更にエジプトスタンンの紅海沿のポートスタンにも直通道路を建設中であると云はれてゐる。

思へば北阿戰線にて我が同盟國のダブルク攻略の殊勳者ロメル大將が元帥に昇進したのは恰もそれがエジプト進攻

の合圖でもあつたやうに、爾後獨伊軍の北阿進撃部隊は鐵をも溶かす灼熱の沙漠地帯を邁進して、既に六月の末エジプト防衛の要衝である。マルサマトルを占領、更に寸時の餘裕をも與へずして、怒濤の如き進撃を續けて瞬く間にエル・アラメインを抜きアレキサンドリアも指呼の間にまで迫つたので而して現實の問題としては獨伊軍が既にマルサマトルーの堅陣を突破した上はこゝを最後と頼んだ、英軍は最早や據るべき陣地がなくなつたのである。正にエジプト防衛の主力を失つた形である。例ひシリア、イラク方面からの應援部隊を送るとも急場の間には合はないので、従つて英軍の數的質的弱體化がエジプト防衛に致命的の結果を齎らす危険性は刻々と迫つてゐる。かくてアレキサンドリアが陥落し、樞軸軍が大舉ナイルの三角洲を蹂躪するに至れば聯合國側殊に英國が最大に惧れてゐるスエズの問題に火が點ぜられるのである。斯様にして地中海を含む樞軸側の勢力が絶對優勢となつてこれが大東亞戰に非常に大きな影響と作用とを與へるであらう。(七月六日記)

◎若葉吟社詠草

耕すや苗代水に雲浮けて	農
山驛や電車とまりて風薫る	如
風鈴にうたゝ寐さめし西日哉	同
竹植て葉すれ静かにかこひ哉	静
東大亞薰風高し日の御旗	同
病める子の風鈴の下鶴折りぬ	淺
風薫る青田の上の轍かな	同
筑波嶺に雲かゝりけり竹植る	静
鐵甲くゝる兵士や風薫る	同
風鈴に夢のあと追ふ瞳かな	翠
歌やめて風鈴の下の端居哉	同
風鈴の廣間晴れたり女客	露
蕪風を孕み切つて白帆の日晴哉	同
一望の山の息吹や風薫る	同
風鈴の垂れ尾動かす眞晝時	野狐禪